

平成 30 年 12 月

(第 1 回)

京都府教育委員会会議録

1 開 会 平成30年12月20日 午後3時00分
閉 会 平成30年12月20日 午後4時00分

2 出席委員等

橋本 教育長 平塚 委員 上原 委員

安藤 委員 千 委員 小畑 委員

3 欠席委員

なし

4 出席事務局職員

小橋 教育次長

前川 教育監

西村 管理部長

細野 指導部長

立久井 指導部理事

大路 総務企画課長

森下 文化財保護課長

相馬 高校教育課担当課長

下村 総務企画課副課長

片又 総務企画課副課長

岡 総務企画課副主査

5 議事の概要

(1) 開会

教育長が開会を宣告

(2) 前会議録の承認

ア 11月分1回の会議録について、全出席委員異議なく、これを承認した。

(3) 報告事項

ア 臨時代理議決の報告について

(ア) 第44号議案 平成30年12月府議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見について

【大路総務企画課長の報告】

- 平成30年12月府議会定例会提出見込議案のうち、知事から意見を求められた教育委員会関係議案1件について、異議がない旨の教育長臨時代理議決を行った。
- 「第1号議案平成30年度京都府一般会計補正予算(第5号)」について、教育委員会関係の議案は、「府立特別支援学校緊急猛暑対策事業費」1億700万円及び「府立学校ブロック塀緊急安全対策事業費」3,200万円の2件である。
- 「府立特別支援学校緊急猛暑対策事業費」については、今夏の災害にも匹敵する猛暑を踏まえ、空調設置等教育環境の向上について、国に要請していたところ、国の補正予算で、「ブロック塀冷房設備対応臨時特例交付金」が措置されたため、これを活用し、特別支援学校の空調設備を整備するものである。
- これにより、府立特別支援学校の全ての普通教室・特別教室で空調整備が完了することになる。
- 「府立学校ブロック塀緊急安全対策事業費」については、ブロック塀の安全対策は、全国的な課題であり、大阪府北部地震以降必要な財政支援について、国に要請していたところ、先に述べたものと同じ交付金が、国補正予算において措置されたため、これを活用し、来年度以降計画的に実施することとしていたブロック塀改修について、特別支援学校の整備を全て前倒して実施するものである。

(イ) 第45号議案 平成30年12月府議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見について

【大路総務企画課長の報告】

- 平成30年12月府議会定例会提出見込議案(その2)のうち、知事から意見を求められた教育委員会関係議案2件について、異議がない旨の教育長臨時代理議決を行った。

- 1件目は、「第13号議案 平成30年度京都府一般会計補正予算（第6号）」について、2件目は、「第22号議案 職員の給与等に関する条例等一部改正の件」である。
- 本年10月9日に行われた府人事委員会からの「職員の給与等に関する報告及び勧告」の趣旨を踏まえ、給料表・勤勉手当・宿日直手当の改定を実施するものであり、これに要する経費の補正と関係条例等の改正を行うものである。

【質疑応答（報告事項ア(ア)及び(イ)）】

- 上原委員
特別支援学校の猛暑対策の国庫補助は、1,500万円だけなのか。
- 大路総務課長
国庫補助は1,500万円だが、起債の60%は地方交付税措置があるので、実質負担は26.7%となる。
- 橋本教育長
国庫補助の単価設定はもともと低い。
- 平塚委員
ブロック塀については、今年度9月と12月の2回補正しているのか。
- 大路総務企画課長
9月補正では、通学路に面しており緊急性が高いものについて前倒しで行ったもの。今回の12月補正では国庫補助が付くなら前倒しで行おうとするもの。

イ 府立高校改革について

【相馬高校教育課担当課長の報告】

- 現在進めている府立高校改革のうち、大江高校における学科改編の検討状況について報告する。
- 大江高校には、現在、「普通科総合選択制」と商業に関する学科である「ビジネス科学科」の2学科を設置している。
- 普通科は1学年60名、ビジネス科学科は1学年40名、3学年合わせて約300名の小規模な高校であるが、これまでから地元企業との連携や地域に貢献するボランティア活動や実習などに積極的に取り組んできた。
- そうした中、府北部地域は、今後、さらに地域の子どもの数が減少することが見込まれており、人口流出や少子高齢化による地域の担い手不足の解消、地域産業の振興等に対応できる人材の育成などが喫緊の課題であることから、高校教育に対しても、これまで以上に、地域の将来を支える人材の育成や地域社会の活性化への貢献などが強く求められている。
- そのため、今回、大江高校において、現在設置している2学科の教育内容を組み直し、これまでの実践をより体系的・効果的に推進することにより、地域の課題を積極的に解決しようとする知識と態度を身に付けさせ、将来の地域創生の担い手・リーダーを育むことを目的として、また、そのためにも、就職や4年生大学への進学など生徒の幅広い進路希望の実現に込められるよう、「総合学科」として再編成したいと考えている。
- 学科名は、「地域創生科」としたいと考えている。
- 学科を再編成し、「総合学科」とすることで、学ぶ内容を系統として細分化

することにより、課題解決に向け、生徒一人一人に応じた知識・技能を習得させることができると考えている。

- 次年度の選抜から対応していくスケジュールで学科改編を進めていきたい。

【質疑応答】

- 小畑委員

2つの学科を1つにするとの事だが、具体的にどのようなようになるのかももう少し詳しく教えていただきたい。

- 相馬高校教育課担当課長

1つの学科の中で、卒業後の進路希望により6つの系統に分かれた学習をする。国際交流系統と環境サイエンス系統は進学も見据えた系統となっている。

- 小畑委員

なぜ文系進学にしか留学生との交流がないのか。

- 相馬高校教育課担当課長

あくまでも例示である。文系進学には国際交流関係の授業も取り組みたいという事で記載したが、系統を越えて学校全体としての国際交流は行う。

- 小畑委員

単位制のようなものなのか。

- 相馬高校教育課担当課長

総合学科は単位制である。系統毎に中心となる科目を選択するが、他の系統の進学を目指した科目を履修することも可能である。基本的には卒業後に就職する生徒の多い学校であるので、就職を目指した科目を中心としている。

- 小畑委員

系統毎に定員はあるのか。

- 相馬高校教育課担当課長

何人以上、何人以下というのではない。系統により多少ばらつきはあると思う。

- 前川教育監

大きく違う点は、入学後に系統が選べること。農業科等だと試験を受ける段階で選ぶことになる。コース制だと2年生の段階で選ぶことになり、一定の人数がいないと成立しないが、総合学科の系統制は自由度が高く、例えば系統に10人程度しか希望者がいなくても成立するし、他の系統の科目を選択することもできる。

- 小畑委員

卒業までの年数も選べるのか。

- 相馬高校教育課担当課長

全日制のため3年間の卒業を基本としている。

- 小畑委員

生徒数が減っている中なので、フレキシブルで良いシステムだと思う。

- 橋本教育長

後はどれだけ教育課程に適した教員を集められるかである。

ウ 平成30年度暫定登録文化財について

【森下文化財保護課長の報告】

- 昨年度も報告しているが、平成29年度から府独自の制度として、現行の文化

財保護制度の枠外にある文化財のなかでも、将来の国や府の指定候補としての価値を有するものについて、早期の保護を図るために「暫定登録文化財」の制度を設けた。

- この制度により、文化財保護の裾野を広げ、より多くの文化財を良好な状態で次世代に継承していくこととしており、昨年度は1,016件の文化財をこの暫定登録文化財に登録した。
- 本日は、今年度の暫定登録文化財の報告で、133件の文化財について登録する。
- 今年度登録の133件の内訳は、建造物89件、美術工芸品32件、有形民俗文化財4件、記念物8件である。
- 市町村ごとの内訳を見ると、京都市を含む17市町に及び、京都市が25件で最多であり、その他多いところでは、舞鶴市、宮津市、亀岡市、福知山市となっている。これは、今年度、主に調査に入ったエリアに関係しており、今後はさらに広いエリアを対象に調査、登録に努めたい。
- 総集計を見ると、昨年度と今年度を合わせると1,147件となり、地域別では、京都市467件、乙訓111件、山城242件、南丹118件、中丹67件、丹後144件で徐々に各地域、件数が増えてきている。
- 宇治田原町と和束町では暫定登録文化財の登録ができていないので、今後、さらに調査を進めていきたい。
- 続いて、主な暫定登録文化財について簡単に報告する。
- 高山寺金堂は京都市右京区にあり、17世紀前期をくだらない時期の仏堂である。
- 板列八幡神社本殿は、棟札から、1833年に工事開始、翌年5月完成とわかる。
- 大山崎町の宝積寺にある木造行基菩薩坐像は、調査で鎌倉時代に修理されたことが判明し貴重なものであることが確認できた。
- 岸連山筆襖絵は、亀岡市の料亭・へき亭に伝わる江戸時代後期の襖絵であり、貴重なものである。
- 京焼茶道具寺町旧域出土は、鴨沂高校校内の発掘調査で出土した。いずれも陶器製で、茶道具一式の全器種が揃う。描かれる十六弁菊花文は、いわゆる禁裏御用品という朝廷からの注文品にみられるもの。詳細については、裏千家茶道資料館に鑑定依頼中である。
- 心種園は、舞鶴市にある旧田邊城の二ノ丸御殿の一角に設けられた庭園であり、田邊城跡が払い下げられた際、公園の一角として残されたものである。大名庭園の姿を伝える府内唯一の庭園として価値は高い。
- いずれも貴重な文化財で、将来府の指定等になる価値は十分あると考える。こうした調査などを通じて、府内に予想以上の貴重な文化財がある事を改めて痛感しており、今後とも、広く調査を続けて京都府の文化財を未来に良好な状態で継承していくよう努めたい。

【質疑応答】

- 上原委員
鴨沂高校から出土したという茶器は埋蔵されていたのか。
- 森下文化財保護課長
きれいに埋蔵されていた訳ではなく、穴の中に捨てられていたため、割れていたものを復元した。奇跡的に良好な状態で出てきた。
- 小畑委員
暫定登録されるとどうなるのか。
- 森下文化財保護課長

文化財の修理費用や維持費用の一部を補助することになる。

- 小畑委員
登録数が毎年増えていくことになると思うが、毎年文化財保護費は登録数の増加に伴い増えているのか。
- 森下文化財保護課長
暫定登録文化財制度ができる時に1億円程度補助の予算が付いたが、それ以降は、財政状況もあり、予算の増額は難しいが、暫定登録のものを指定登録に移していく作業を順次進めていきたい。全体の枠の中で賄えるようにしたい。
- 小畑委員
そうなると指定登録の件数が増えていくことになると思うが、指定登録の予算は増えるのか。
- 森下文化財保護課長
予算の増額をお願いする一方で、修理等には所有者の財源も必要であり、所有者と修理計画等を相談しながら全体調整を図っている。
- 小畑委員
文化財は京都の財産。できるだけ頑張って予算を増額させたい。

(4) 議決事項

- ア 第46号議案 技能労務職員の給与等に関する規則の一部を改正する規則の制定について

【西村管理部長の報告】

- 今年度10月に、月例給を公民較差の679円を基に引き上げるよう人事委員会勧告があり、この勧告を受けて、一般職については、12月議会に給与条例の一部改正案が提出され議決された。
- 技能労務職員の給与は、給与条例の適用を受けないので、教育委員会規則で定めており、技能労務職員の給与についても改定を行うために、教育委員会規則を一部改正するものである。
- 技能労務職員の年齢層は高齢層が多くなっているため、平均改定率は一般職より低くなっており、400円を基本に引き上げることになる。
- なお、一般職と同じく平成30年4月1日に遡及して適用する。

【質疑応答】

- 上原委員
1級1号給の該当者はいるのか。
- 西村管理部長
高卒1年目のような場合にありえるが、実態としてはいない。
- 上原委員
最低賃金を下回っていないか。
- 西村管理部長
下回っていない。
- 小畑委員
技能労務職とはどのような仕事をしている人なのか。月例給与の他にも手当等があるのか。

- 西村管理部長
府立学校には清掃や修繕等をする職員や給食調理員が、また、教育局には清掃業務等をする用庁務の職員がいる。
月例給与の他には扶養手当、住居手当等の手当が加算される。
- 小畑委員
個人のパフォーマンスによって変わるものはあるのか。
- 西村管理部長
勤勉手当や昇給の速度は個人の評価により変わる。
- 小畑委員
支給される給与の何割ぐらいを月例給与が占めているのか。
- 西村管理部長
個人差はあるが、8～9割を占めている。

[原案どおり可決]

- イ 第47号議案 京都府公立退職教職員表彰(死亡退職)の受賞者の決定について【非公開】

[原案どおり可決]

- ア 第48号議案 事務局職員の分限処分について【非公開】

[原案どおり可決]

(5) その他

- ア 公開しないこととする議決について

(京都府教育委員会会議規則第15条第1項第1号)

議決事項ア及びイまでについて、全出席委員異議なく、公開しないこととすることに議決。

(6) 閉会

教育長が閉会を宣告